

草地化等の新技術を組み入れた汎用性の高い 小規模移動放牧マニュアル

全国で増加する耕作放棄地の解消に向けた様々な取り組みがなされており、とくに景観改善効果も高い放牧活用に対する期待は大きいものがあります。そこで、小規模移動放牧による耕作放棄地解消に向けて、転作田において牧草を定着させる草地管理技術、耕作放棄地と水田の組み合わせ、周年屋外飼養が可能な技術等を新たに開発し、それらを既存マニュアルに組み入れた汎用性の高い小規模移動放牧マニュアルを作成しました。

☆ 技術の概要

1. 本マニュアルは、転作田等への牧草導入法、冬季放牧法、水田放牧活用法等の小規模移動放牧に取り組む際に直面する問題点（図1）について、科学的にアプローチした研究成果を主体に既往の知見も織り交ぜて解説したQ&A方式のマニュアルです。
2. たとえば牧草を導入して草地化する方法としては、センチピードグラス播種による耕作放棄地のシバ草地化法等について、写真や図表を用いてわかりやすく解説しています（図2）。他に、転作田等への耐湿性牧草導入法、さらに牧草導入した場合の放牧可能頭数などを、放牧予定地の地理情報と導入予定牧草種から推定する方法等も記載しています。

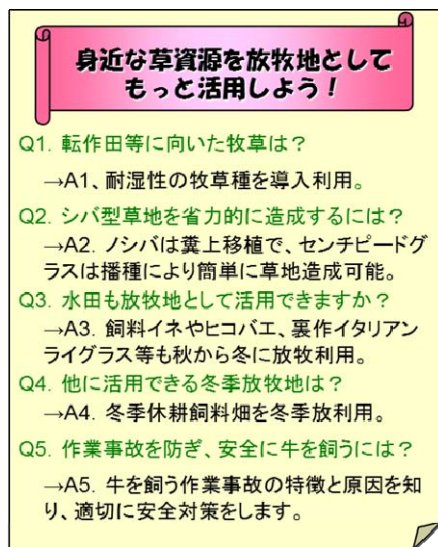


図1. マニュアル目次（一部抜粋）

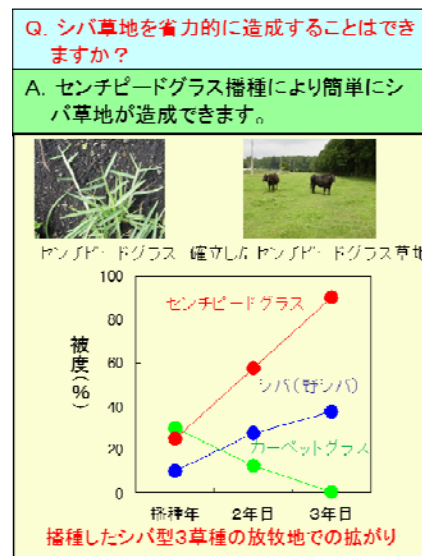


図2. シバ草地化法（一部）

☆ 活用面での留意点

1. 本マニュアルでは、主に肉用繁殖牛の放牧を対象としています。
2. 本マニュアルは畜産草地研究所技術レポートとして刊行していますが、Web 上でも公開しています (http://nilgs.naro.affrc.go.jp/pub/report/report_no10.pdf)

((独)農研機構 畜産草地研究所 草地管理研究領域 山本嘉人)